



協栄産業株式会社

茨城県立友部高等学校



研修後、古澤社長と記念撮影

『分ければ資源、混ぜればゴミ』知っていますか？PETボトルリサイクル！

日本有数のPETボトルリサイクル技術を誇る協栄産業グループ。今回、茨城県立友部高等学校のみなさんが協栄産業グループの最新工場＝ジャパンテック株式会社・東日本PETボトルMRセンターを訪問し、高校生環境研修が実施されました。高校生にとって最も身近な飲料容器「PETボトル」のリサイクルを知ることで、限りある資源を次世代につなげるために今の高校生ができることを学びました。研修の内容を紹介します。

世界が騒然、資源ごみ問題

2017年、中国政府は一部の生活系資源ごみが汚れたまま届けられ、環境汚染を引き起こしていると発表、2018年から使用済みPETボトルを含む廃プラスチックの輸入を停止しました。これまで中国に資源ごみを輸出していた日本をはじめとする欧州、米国、韓国などの使用済みボトルの行き先が失われ、混乱が続いています。また廃プラスチックをはじめとする資源ごみ問題が世界で騒がれ、連日ニュースに取り上げられています。これを受け外食産業では、使い捨てられているプラスチック製ストローの廃止などの動きが広がっています。また、プラスチック製品に関わる企業はリサイクル原料の採用を相次いで発表するなど、世界の潮流である環境問題への対応を迫られています。

日本初「ボトル to ボトル」そして世界初「F to Pダイレクトリサイクル」へ

協栄産業グループは、不純物を完全に排除し新たな再生技術の開発で、これまで不可能とされていたPETボトルが再びPETボトルに蘇る日本初の「ボトル to ボトル」リサイクルを2011年に実現、翌年にはリサイクル樹脂100%のボトルが登場し※1、PETボトルを作る際に新たな石油資源を使う必要がない「究極の資源循環」を実現しました。そして2018年、大手飲料メーカーと協働で世界初「F to P※2ダイレクトリサイクル」技術の開発に成功。PETフレークから直接PETボトルの素であるプリフォームを成形できるため、製造・輸送など多くの工程が必要だった従来の再生法と比較するとCO2排出量を約25%削減できます。こうした優れた環境効果から、国内に溢れるPETボトルの有効活用の担い手として、協栄産業のリサイクル技術は大きな期待を集めています。 ※1:メカニカル手法では同社が世界初 ※2:フレーク to プリフォーム

みなさんにもできること

資源のない日本ですがPETボトルという貴重な資源を国内循環することで、地下資源の利用抑制と温暖化防止に繋がります。飲み終わった後にラベルを取って中を洗うことで、その後に生まれるリサイクル樹脂の品質が向上し、再びPETボトルに生まれ変わることができます。是非協力を続けて頂き、地球の未来を明るくしましょう。

まずは会議室で研修



続いて工場視察研修



再生PETの商品群



茨城県立友部高等学校

感想



小林 優斗さん

私は、今回の企業環境研修を通して、リサイクルの大切さや世界全体が環境について深く考えていることを知りました。また、工場の中の機械を見て、とても素晴らしいと思いました。私は、環境を守るために自分ができることをしていきたいと思いました。



谷口 来さん

今の時代、AIが働き手になるという話がありますが、今回の工場見学を通してCCDカメラでも見落としてしまうものを、最後に人間の手で分別しているところをみて、人間にしかできないやりがいのある素晴らしいお仕事だと思いました。



大越 来夢さん

今回の工場見学を通して、環境の事やリサイクルの事をたくさん知ることができました。また、ゴミの分別の大切さを知ることができました。すごく良い体験をすることができました。教えていただいたことをこれからも活かして人間として成長していきたいと思っています。



小松崎 泉さん

今回、企業環境研修を通して、世界の国々が抱えている環境問題に積極的に取り組んでいるのが分りました。そしてリサイクルについて、社長さんのお話や工場見学を通してPETボトルを100%リサイクルしてPETボトルとして再利用し、さらに二酸化炭素も削減していることを聞き、とても素晴らしいことだと思いました。私も、これから環境問題についてよく考えていきたいです。この研修を通して、心の成長につながることを期待しています。



齋藤 明日香さん

今回の工場見学を通して、普段何気なく当たり前のようにPETボトルを捨ててしまいましたが、工場の方々が一生懸命に働いて、地球温暖化などの環境問題に取り組んでいることが分かりました。今回の企業研修は、私の心に変化を与える素晴らしい機会になりました。ありがとうございました。



柿沼 祐介さん

私は、企業環境研修で様々なことを学びました。普段、PETボトルのラベルやキャップをどらすと一緒に捨ててしまうことがありました。今回の研修を受けて、リサイクルされるPETボトルを機械や手作業で選別しているところを見て、これからはきちんとゴミの分別ができる人間に成長したいと思いました。



米川 蒼馬さん

今回の工場見学では、協栄産業の仕事や古澤社長について、たくさんのお話を聞かせていただくことができました。工場見学では、リサイクルの重要性の深い話を聞くことができ、すごく勉強になりました。また、協栄産業の実績や最新リサイクル技術を間近にみることで、この貴重な体験を大切にしていきたいと思いました。



千代 真奈さん

今回、社長さんのお話と工場見学で学ばせていただいたことは、私の心の成長にすごくつながりました。とても感謝しています。私は、この機会を大切に、今回学んだ知識や一つのことに対する情熱をもち続け、夢に向かって進んでいきたいと思っています。